

# 「前例なき皮膚科」を目指して

## 第1回

今春から新たに2人の先生が加わり、〈エールホームクリニック〉の皮膚科は専門医4人体制となりました。「前例なき皮膚科」のために、皮膚科の先生方は新たにどんなことに取り組み、どんな高みを目指しているのか。同院の皮膚科の現在と将来の展望をお聞きしました。



梅森 幸恵先生  
皮膚科医師

●専門医・資格  
皮膚科専門医(日本皮膚科学会認定)  
レーザー専門医(日本レーザー医学会認定)  
がん治療認定医(日本がん治療認定医機構認定)

●好きな言葉「なるようになる」



松井 彰伸先生  
皮膚科医師/医学博士

●専門医・資格  
皮膚科専門医(日本皮膚科学会認定)

●好きな言葉「継続は力なり」



藤本 篤先生  
皮膚科医師/医学博士

●専門医・資格  
皮膚科専門医(日本皮膚科学会認定)

●好きな言葉「我思う、ゆえに我あり」



苅谷 直之先生  
皮膚科医師/医学博士

●専門医・資格  
皮膚科専門医(日本皮膚科学会認定)

●好きな言葉「笑う門には福来る」

梅森先生「そのように」どちらにかかったついでに「このように」もありませんし、皮膚に症状が出る内科・小児科の病気もあるの、内科・小児科の先生から皮膚科

に引き継がれる場合もありま  
す。逆に、皮膚科の方に来られた  
患者さんが、膠原病やリウマチ、  
糖尿病などの病気が疑われる  
ということ、全身を診てもら  
うために内科の先生にお願いす  
るということもあります。

苅谷先生「皮膚科専門医」とは  
「皮膚のことなら何でも診療で  
きます」という意味なので、医師  
一人ずつに専門領域というもの  
があるわけではないんです。例  
えば手術を多く行う、レーザー  
治療を行う、脱毛症の外来診療  
を行うなど、多少のフィールド  
違いはありますが、内科の先生  
のように——例えば田村先生や  
伊藤先生がリウマチ、倉科先生  
が呼吸器というように——細か  
く専門分野が別れているわけ  
ではないんです。それが皮膚科の  
いいところです。基本的には「皮膚  
のことなら何でも診ます」とい  
うのが皮膚科専門医です。

編：なるほど。そういう意味で  
は、とても問口が広いというか  
……。

藤本先生「そうですね。皮膚  
科は非常に問口が広い科です。  
ですから、クリニック内で潤滑  
油のような役割を果たす科で  
もありません。

皮膚科は対象者が全年齢層  
なので、大人もお子さんも来ら  
れます。皮膚科に来られた大人  
が風邪をひけば内科へ、お子さ  
んの体調が悪ければ小児科へと  
カルテを引き継ぐことができます  
。もちろん逆のパターンもあ  
ります。それぞれが橋渡しのよ  
うな役割を果たしているんで  
す。

松井先生「はい。連携といえば院  
内だけではなく、昨年5月に弘  
前大学と遺伝性疾患の遺伝子  
診断をテーマとした共同事業提  
携を始めたことも挙げられま  
す。弘前大学のような国立大学  
と民間のクリニックが提携して

に引き継がれる場合もありま  
す。逆に、皮膚科の方に来られた  
患者さんが、膠原病やリウマチ、  
糖尿病などの病気が疑われる  
ということ、全身を診てもら  
うために内科の先生にお願いす  
るということもあります。

藤本先生「大きい病院だと院内  
で診療科が違うとまた紹介状  
が必要だったり、別日に予約を  
取り直さなければならなかつた  
りしますが、エールなら「ついで  
にこの後ちょっと行ってみてくだ  
さい」とご案内することができ  
ます。患者さんの負担を減らす  
ことができますし、カルテを共  
有できるので医者にとってもあ  
りがたい。皮膚科が内科・小児  
科と連携することで生まれるシ  
ナジー効果はとても大きいんで  
す。

苅谷先生「ワークを打ちに来  
られた人や、小児科に来られた  
患者さんが「皮膚科があるか  
ら」と、皮膚症状のケア方法につ  
いて受診されることがよくあり  
ます。これはクリニック内に両  
方の科があるからこそできるこ  
とです。患者さんが相談しやす  
い環境をつくることはとても大  
切だと、私たちは皆考えていま  
す。

編：皮膚科としてだけでなく、  
他の科と連携することでさらな  
るシナジー効果を生み出せるん  
ですね。

松井先生「はい。連携といえば院  
内だけではなく、昨年5月に弘  
前大学と遺伝性疾患の遺伝子  
診断をテーマとした共同事業提  
携を始めたことも挙げられま  
す。弘前大学のような国立大学  
と民間のクリニックが提携して

治療を進めるというのとはとも  
珍しいことです。  
この共同事業により、例えば  
水ぶくれができやすい水疱瘡、  
皮膚がガサガサしやすい角化  
症、光線過敏症など、遺伝性疾  
患が疑わしい人がいたら、弘前  
大学に遺伝子診断してもらうこ  
とができます。原因不明な皮膚  
疾患の病名が判明することで、  
家族や周囲の理解も深まり、患  
者さんの負担が軽くなります。  
弘前まで行かなくても、血液検  
査などで簡単に検査ができます  
ので、気軽に相談していただ  
ければと思います。

苅谷先生「大学との連携とい  
えば、長岡造形大学の学生さん  
とも連携してプロジェクトを進  
めているんですよ。

編：それは楽しみです。こう  
いった取り組みが拡がり、更に  
シナジー効果を生み出すん  
ですね！

★編集部インタビュー  
が盛り上がり、紙面に収  
まりきらなくなりました！  
お話の続きは8  
月6日号にて掲載させて  
いただきます。

編：クリニクと、造形大の学生  
さんですか？

苅谷先生「昨年、小児科の鈴  
木先生が造形大生と一緒に卒業  
制作として視覚的資料を作った  
んです。今年は皮膚科が造形大  
の学生さんやゼミとの連携を図  
り、「皮膚科の医療で患者さんが  
より積極的に治療に向かえるよ  
うなツール」を作ろうと話  
合っている真っ最中です。

治療を進めるというのとはとも  
珍しいことです。  
この共同事業により、例えば  
水ぶくれができやすい水疱瘡、  
皮膚がガサガサしやすい角化  
症、光線過敏症など、遺伝性疾  
患が疑わしい人がいたら、弘前  
大学に遺伝子診断してもらうこ  
とができます。原因不明な皮膚  
疾患の病名が判明することで、  
家族や周囲の理解も深まり、患  
者さんの負担が軽くなります。  
弘前まで行かなくても、血液検  
査などで簡単に検査ができます  
ので、気軽に相談していただ  
ければと思います。

苅谷先生「大学との連携とい  
えば、長岡造形大学の学生さん  
とも連携してプロジェクトを進  
めているんですよ。

治療を進めるというのとはとも  
珍しいことです。  
この共同事業により、例えば  
水ぶくれができやすい水疱瘡、  
皮膚がガサガサしやすい角化  
症、光線過敏症など、遺伝性疾  
患が疑わしい人がいたら、弘前  
大学に遺伝子診断してもらうこ  
とができます。原因不明な皮膚  
疾患の病名が判明することで、  
家族や周囲の理解も深まり、患  
者さんの負担が軽くなります。  
弘前まで行かなくても、血液検  
査などで簡単に検査ができます  
ので、気軽に相談していただ  
ければと思います。

## 教えてドクター!

**皮膚科** **Q** 乳児湿疹について気をつける点などを教えて下さい。32歳 女性

**A** 1歳頃までの乳児期は皮膚のバリア機能が成人と比べて低く、この時期にできる湿疹をまとめて乳児湿疹と呼びます。頬、口周りなどの顔にできることが多く、生後3ヵ月頃までは皮脂の量が多いこと、それ以降は皮膚が乾燥しやすくなることで生じます。こすりすぎ・洗いを避けてやさしくスキンケアを行うこと、十分に保湿することが重要です。治りにくい場合は、ステロイド外用が必要になることがあります。まずは小児科・皮膚科でご相談ください。

**ここがポイント!** 生後3ヵ月以降は皮膚が乾燥しやすくなることで生じます。やさしいスキンケアと、十分に保湿することが重要です。

**皮膚科** **Q** 日焼け止めに記載されている「SPF」「PA」の数字は何を表していますか? 19歳 男性

**A** 私たちの浴びている紫外線は主に大量のUVAと少量のUVBです。日焼けを起こす強さはUVBがUVAの600-1000倍と言われています。「SPF」はそのUVBから肌をどの程度防止できるかという目安の数値で、現在販売されているものではSPF50と書かれたものが最も高い数値となります。一方「PA」はUVAから肌をどの程度防止できるかの目安の数値です。ともに数値の高い方が効果は高いですが、普段使いであればSPF20、PA++程度でも十分に紫外線をカットできるので、皮膚への刺激が少ないものを選びましょう。

**ここがポイント!** 紫外線の中のUVBを防ぐ数値が「SPF」、UVAを防ぐ数値が「PA」です。数値が高い方が効果は高いですが、SPF20、PA++程度でも十分です。

次回の教えてドクターは

**皮膚科の苅谷先生・梅森先生**

先生への質問はP19の読者プレゼントの「ご意見・ご要望欄」からお寄せください。

※取材協力(エールホームクリニック) ☎0258-86-8722



内科医師 苅谷先生 皮膚科医師 藤本先生 皮膚科医師 梅森先生 内科医師 倉科先生 内科医師 田村先生 内科医師 伊藤先生 皮膚科医師 苅谷先生 皮膚科医師 中野先生 皮膚科医師 松井先生 小児科医師 鈴木先生